

治療前



治療後



主訴	でこぼこが気になる。
治療内容	非抜歯、マウスピース型矯正装置
患者様の年齢	48歳
患者様の性別	女性
治療期間	1年8月
治療費（税別）	検査診断料40,000円+基本矯正料1,000,000円+動的治療費5,000円×10回=50,000円 合計1,0950,000円
治療で得られるメリット	でこぼこの改善
治療する際に起こるリスク・副作用	矯正歯科治療は本来に歯肉炎、顎関節痛、歯肉炎、歯肉腫、歯肉出血などがあります。一時的に虫歯菌が増え、虫歯菌が増える可能性があります。 歯の動きによっては他人に害があります。そのため予備された治療期間が延長する可能性があります。 矯正歯科装置の使用状況、歯肉の炎症、定期的な検診など、矯正歯科治療には患者さんの協力が必要であり、それら治療結果や治療期間に影響します。 治療中は矯正歯科装置が歯の表面に付いているため食物が残りやすく、また歯が磨きにくくなるため、むし歯や歯周病が生じるリスクが高まります。したがって、歯の清掃を適切に行い、お口の中を常に清潔に保ち、さらにかかりつけ歯科医に定期的に受診することが大切です。また、歯が動くと思われる場合、歯が動くようにする必要があります。 歯を動かすことにより歯根が吸収して短くなることや歯肉が下がることがあります。 ごくまれに歯が骨と癒着して動くことがないことがあります。 ごくまれに歯が動かしすぎて歯根が吸収される可能性があります。 矯正歯科装置などにより歯肉等のアレルギー反応が出る場合があります。 治療中に歯肉の腫れ、赤み、痛み、口が閉じにくいなどの副作用が生じる場合があります。 治療の結果によってはお口が閉じにくくなる場合があります。 歯の形の矯正や咬み合わせの調整を行う場合があります。 矯正歯科装置を試験する可能性があります。 矯正歯科装置を長時間にわたって使用した場合、歯肉に炎症が生じる可能性があります。 動的治療が終了し装置が外れた後に、歯肉の咬み合わせに合った状態の矯正装置（補綴物）やむし歯の治療（歯肉）などをやりなおす必要性が生じる可能性があります。 動的治療が終了し装置が外れた後に、歯肉の咬み合わせに合った状態の矯正装置（補綴物）やむし歯の治療（歯肉）などをやりなおす必要性が生じる可能性があります。 矯正歯科治療により咬み合わせや歯肉が変化する可能性があります。 治療後に歯肉の腫れや歯肉が咬み合わせに変化が生じる可能性があります。 矯正歯科治療は一時的なもので元の状態に戻すことは難しくなります。